

第8回資源評価結果説明会

【議事要旨】

○日時：令和5年3月28日（火）13:30～16:30

○場所：札幌第1合同庁舎2F講堂（WEB併用）

○魚種：ホッケ道北系群

○概要：

ホッケ道北系群の資源評価結果について、当該水産資源の関係者を主な対象としつつ、公開で説明会を開催した。

本説明会では、国立研究開発法人水産研究・教育機構から水産資源ごとの資源評価結果の説明が行われ、これに対して参加者から質問・意見等があり、活発な議論が行われた。主な意見等は以下のとおり。

- ① 資源量の指標値として使用している標準化された沖底CPUEについて、自主的管理が反映されていない懸念があるので、改善していただきたい。また、データが利用可能となった場合、沿岸漁業のCPUEについても指標値として反映することを検討して欲しい。
- ② わかりやすい説明資料を作成するように工夫していただきたい。また、資源評価にどのような情報やデータが使われていて、どのように反映されているのかといった情報は漁業者との信頼を築く上でも重要であり、整理して説明して欲しい。
- ③ 需要が高いサイズの魚の漁獲量を最大化するような目標設定をした場合の管理基準値等について、具体的な条件が定まったら試算して欲しい。
- ④ 数量管理することのメリットについて説明して欲しい。
- ⑤ 若齢魚の将来予測等、資源評価における不確実性をしっかり説明してほしい。その上で、当該不確実性を踏まえ、管理の柔軟性で対応できるような方策を検討して欲しい。

以上について、今後の課題として検討されることとなった。

以上